

## 《現場紹介》

### ◆「富士山世界文化遺産登録」

#### 〈向けての工事〉

関東支店 池田 和巳

当現場は、富士山世界文化遺産登録に向けて推進本部 本部長山梨県知事 行動目標の一環工事です。来訪者及び観光による影響の対応として五合目環境配慮型トイレの設置・管理とし発注されており。これまでは利用者が多くなると、処理が間に合わず、利用を制限したり仮設トイレを設置したりして対応していましたが、富士山五合目駐車場トイレの浄化槽を増設することにより、1日当たりの処理能力を現在の約5倍にあたる1万5千人分に拡充する方針を固め、同駐車場に、排水を浄化して再利用できる環境配慮型の浄化槽トイレ施設(男性用18基、女性用13基)を設置し、富士山の世界文化遺産登録へ向け、環境などにより配慮することになりました。工期は、2012年2月～6月とし、7月1日の山開きまでの完成を目指します。

工事内容は、現況のトイレを改修し、新たに駐車場下にポックスカルバートを設置し、内部に環境配慮型の浄化槽トイレ施設を設置する工事で元請(株)大森工務所様。請負は、ポックスカルバート部掘削、敷設、埋戻、既設休憩所トイレからポックスカルバート部までの排水管布設(立坑2基、人孔2基、推進13m)となっております。当社施工請負分は、立坑2基、人孔2基、推進13m(既設石積下越し)、薬液注入で、工期が4月から6月15日までの短期間での工事であり、私の現場経験では初めての高地(標高2300m)の仕事でした。当現場への通勤道中、毎朝、リス、日本カモシカ、鹿等が出迎えてくれましたが、地上との気温差20℃の気象状況下、今までの現場では考えられない場面にも何度も遭遇しました。日本中が春を待ちわびた桜開花時期で騒ぎ出す4月に富士山五合目スバルラインは、降雪(30cm)により通行止めで現場にいけなかったり、散水車の水が凍りそうにな

り危うくタンクが破裂しそうになったり、一番の驚きは3号珪酸ソーダが凍ったことでした。逆に富士山五合目から地上を見下ろすと雲海が広がり五合目からは晴天と雪を着た富士山頂上が見え、仙人になった気分がして、この現場で唯一優越感に浸りました。

現場の内容的には、目新しいものはありませんが、厳しい気象条件の上、さらに工期がないにもかかわらず無事故で完工できたことは協力会社のおかげだと感謝しております。6月29日には、トイレ供用開始となり、ポックスカルバート上は舗装にて復旧され、今回の工事の面影は垣間見ることが出来ませんが、再び富士山五合目に行ったときは、今まで経験した現場の中でも印象深い現場として心に残ると思います。

#### 【工事概要】(敬称略)

- 工事名: 富士河口湖富士線五合目駐車場トイレ汚水処理施設  
建設工事(一部債務)
- 工事場所: 山梨県南都留郡鳴沢村富士山五合目地内
- 発注者: 山梨県
- 元請名: 株式会社大森工務所
- 工事内容: (1) 推進延長 φ800刃口方式 L=13.0m  
(2) 発進立坑 φ4000ライナープレート 1箇所  
到達立坑 φ3500ライナープレート 1箇所  
(3) 人孔 φ2箇所  
(4) 薬液注入 φ98,902リットル



薬液注入



現場